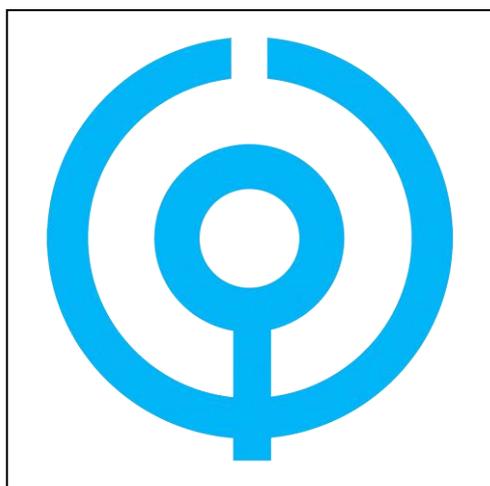


総会(令和2年6月18日)

# 事業報告書

2019年(令和元年)度  
自 2019年4月 1日  
至 2020年3月31日



公益社団法人全国子ども会連合会

東京都文京区大塚 6-1-14 全国子ども会ビル  
<https://www.kodomo-kai.or.jp>



## ■事業統括

まず始めに2019年度の2月から年度末にかけての全子連事業が、新型コロナウイルス感染拡大の事態を受け延期または中止とし、事務局業務におきましても休業措置を取り、全国の子ども会関係者の皆様に現在も引き続いての多大なご迷惑、ご不便をおかけしておりますこと深くお詫び申し上げます。

2019年度の事業統括としまして、子ども会会員数は例年同様約15万人の減少となっております。事業運営に大きな影響を与えております。

しかしながら、近年の会員の皆様の安全に対する意識の向上、そして指導者の皆様における安全教育の指導徹底の成果で、安全共済事業が健全な運営を継続していることで、かろうじて事業全般が円滑に進んでいます。

以上のことをふまえて、2019年度運動方針に沿って総括しますと、

- 1 地区子ども会活性化の起爆剤になればと立ち上げた「地区子ども会推進研究会」は、4年を経過して成果が出ている地区と機能していない地区に分かれています。成果については地区育成研、中央大会・研究集会での分科会運営に対し、子ども会の問題点を的確に分析、方向性を示すなどの実績から、これからの更なる活躍、そして全国の子ども会に発信していけると考えています。
- 2 子ども会の未来像については、会員数の減少、育成者・指導者の後継者不足など多くの問題を抱えた中で、更に新たに生じる問題に丁寧に対応していく柔軟さを持って、中央大会・研究集会での「子ども会未来委員会」分科会ではこれからの子ども会に個々の育成者は何をすべきかについて協議を重ね方向性を見出しました。
- 3 ジュニア・リーダー、シニア・リーダー養成については、2019年度全国ジュニア・リーダー研究集会を開催しました。地域の子ども会におけるジュニア・リーダーとしての活動、また子ども会に対する理解についての研究協議、情報交換を行いました。また研究集会の運営を全子連ユースが担当するなど、これまでの育成の成果が表れたといえます。
- 4 事務局の活性化について、全子連事業の各地区担当子連事務局には個別に柔軟な対応をお願いしているところです。また共済新システムについても、必要に応じて担当者を派遣し説明会を開催するなどして、ネット加入の周知、普及に努めてきました。様々な子ども会独自の問題と、時代における問題が相まって、子ども会にとって厳しい状況が続きます。

人口減少以上の加速的会員減少、指導者・育成者の後継者不足、資質の向上といった永久的な問題の解決に至らない上に、最近では単位子ども会の組織からの離脱といった組織の問題が全国各地において多く見受けられます。地域の実状に合わせた子ども会組織の見直しも含めて、この国難に立ち向かい、地域における子ども会活動の底力を発揮すべく一致協力できることを確信しています。

## ■組織の状況

### I 組織の状況

#### 1 2019年度（令和元年度）の会員状況

正会員：59（46都道府県＋13政令指定都市）

#### 2 役員に関する事項

##### (1) 当該年度末時点で在籍している役員

氏名(県・市)	役職	担当	就任年月日	任期満了	重要な兼職の状況
河本 功 (静岡県)	会長		平成30年 5月30日	※	
野瀬 武敬 (名古屋市)	副会長	事業	平成30年 5月30日	※	
佐々木 正市 (秋田県)	副会長	指導者育成	平成30年 5月30日	※	
美田 耕一郎 (鳥取県)	副会長	共済事業	平成30年 5月30日	※	
大鹿 良夫 (埼玉県)	理事		平成30年 5月30日	※	
内藤 進 (栃木県)	理事		平成30年 1月24日	※	
市川 賀三 (愛知県)	理事		平成30年 5月30日	※	
山崎 暢子 (福井県)	理事		平成30年 5月30日	※	
安部 侃 (滋賀県)	理事		平成30年 5月30日	※	
小手川 和彦 (大分県)	理事		平成30年 5月30日	※	
長 秋美 (宮崎県)	理事		平成30年 5月30日	※	
中山 良明 (大阪市)	理事		平成30年 5月30日	※	
新田 新一郎 (学識経験)	理事		平成30年 5月30日	※	
河村 隆 (学識経験)	理事		平成30年 5月30日	※	
山本 哲哉 (学識経験)	常務理事		平成30年 5月30日	※	
中山 ひろみ (大阪府)	監事		平成30年 5月30日	※	
丸山 康昭 (熊本県)	監事		平成30年 5月30日	※	

※任期満了は、令和2年度定時総会の終結の時。

- (2) 平成31年度中に退任した役員  
なし

## II 都道府県・指定都市子連の状況

### 1 代表者の交代による新規会員

県・市	新代表者	旧代表者	異動年月日	備考
石川県	縄 寛敏	正木 明	2019年5月12日	
茨城県	町田 満	大月 光司	2019年5月22日	
神戸市	小林 晋一	猪熊 修	2019年5月19日	
富山県	朝日 重剛	舘 勇将	2019年6月22日	
広島県	大江 昭典	岡本 康成	2019年6月8日	

### 2 会員都道府県・指定都市子ども会連合組織

別紙1 参照

## ■事業報告

### I 公1事業（連合会事業）

#### 1 指導者及び育成者相互の連携事業

##### (1) 地区子ども会推進研究会

各地区の子ども会活動の活性化を図ることを推進研究会に委託し、下記日程で開催された。運営経費につき、平成30年度の共済会加入人数×1円を限度に全子連が負担した。（この金額が50万円未満の場合は50万円を限度に負担）

地区	担当県	開催日・会場
北海道地区	北海道子連	①8月24日（土） かでる2・7 9階 当会会議室 ②1月27日（月） かでる2・7 9階 当会会議室
東北地区	秋田県子連	①9月16日（祝月） 仙台市シルバーセンター会議室 ②11月10日（土） エスポールみやぎ 1F 多目的室 ③2月22日（土） 仙台市シルバーセンター会議室
関東甲信越静岡地区	栃木県子連	①6月15日（土）～16日（日） 全子連 2F 会議室 ②11月9日（土）～10日（日） 全子連 2F 会議室
東海北陸地区	岐阜県子連	①6月20日（木） 岐阜市ハートフルスクエア-G ②9月5日（木） 岐阜市ハートフルスクエア-G ③11月14日（木） じゅうろくプラザ
近畿地区	大阪府子連	①7月9日（火） （一財）大阪府こども会育成連合会会議室 ②9月3日（火） マリーナシティ（ポルトヨーロッパ） ③9月19日（木） （一財）大阪府こども会育成連合会会議室 ④11月30日（土） 琵琶湖ホテル ⑤1月21日（火） KKR ホテル大阪
中国四国地区	鳥取県子連	①6月23日（日） 岡山県総合福祉・ボランティア・NPO 会館 ②12月7日（土） 岡山県総合福祉・ボランティア・NPO 会館
九州沖縄地区	熊本県子連	①2月8日（土） ホテル熊本テルサ
指定都市地区	名古屋市子連	①11月2日（土） ANA クラウンプラザホテル神戸

## (2) 子ども会未来委員会

地 区	氏 名	所 属	地 区	氏 名	所 属
北海道	木村 謙治	北海道	近 畿	鈴木 正造	滋賀県
東 北	高橋 昌樹	青森県	近 畿	音田 美幸	奈良県
東 北	野崎 一	秋田県	中国四国	安部 悟	鳥取県
関東甲信越静	矢後 紀夫	栃木県	中国四国	山下 昌彦	山口県
関東甲信越静	関根 雅治	埼玉県	九 州	井立 伸一	熊本県
関東甲信越静	大作 公明	長野県	九 州	権藤 敏博	福岡県
東海北陸	井上 満枝	福 井 県	指定都市	木戸 秀典	名古屋市
東海北陸	福井 靖	愛知県	指定都市	中山 里美	横浜市

全国的な視点で、子ども会の今後の在り方等を協議検討し、将来に亘り子ども会の発展に寄与するため分科会及びジュニア・リーダーへの指導実践も行った。

### ア 第1回子ども会未来委員会

令和元年7月13日(土)～15日(月) 国立オリンピック記念青少年総合センター

#### (ア) 令和元年度の未来委員会の行動計画について

新規の委員との初会合もあり、これまでの取組と未来委員会の位置づけ等を相互討議。子ども会用語の整理は、引き続き継続する。

#### (イ) 中央会議岡山大会の分科会の内容について

「子どもの手による子ども会」をテーマとして進め方を検証する。

### イ 第2回子ども会未来委員会

令和元年10月5日(土)

第53回全国子ども会育成中央会議・研究大会 倉敷市芸文館 第10分科会

1. 「子どもの手による子ども会」の充実のため、育成者・指導者はこれから何を考え如何に行動するかを検証した。

事例発表とビデオ視聴、グループワークにより実態をとらえ、参加者が実際にできる行動を検討し、未来の子ども会育成に対し、各自が決意表明を行った。

### ウ 第3回子ども会未来委員会

令和2年2月22日(土)～2月24日(月)に開催を予定していたが、新型コロナウイルスの感染防止のため中止した。

### (3) 第53回全国子ども会育成中央会議・研究大会

ア 日 程：2019年10月4日（金）～6日（月）

イ 会 場：倉敷市芸文館（倉敷市中央1-18-1）・倉敷アイビースクエア

ウ 参加者：695名

エ 参加費：3,000円（情報交換会費、宿泊旅費は参加者負担）

オ 事業内容：

<1日目（4日）>

- ・ 開会式
- ・ 表彰式
- ・ 基調提言 「今、家庭・家族に必要なもの」-家庭に笑顔がありますか- 森美智子氏
- ・ 受賞者記念撮影
- ・ 受賞者を囲む会・情報交換会（倉敷アイビースクエア）412名

<2日目（5日）>倉敷市芸文館・倉敷市公民館 464名

- ・ 第1分科会 こんな子ども会活動に取り組んでいます！
- ・ 第2分科会 組織作りから加入率を上げるには
- ・ 第3分科会 育成者の指導力を伸ばすために
- ・ 第4分科会 育成者・指導者について議論する
- ・ 第5分科会 町づくりと子ども会
- ・ 第6分科会 関係団体との連携
- ・ 第7分科会 ジュニア・リーダー、シニア・リーダーについて
- ・ 第8分科会 討論会・ジュニア・リーダー、シニア・リーダーの課題と展望
- ・ 第9分科会 防災への取り組み
- ・ 第10分科会 未来委員会「子どもの手による子ども会」を検証する
- ・ 記念講演 「可能性の扉を開けて」キセキの葉書の原作者 脇谷みどり氏
- ・ 閉会式

<3日目（6日）>

- ・ 視察4コース 参加者 134名

### (4) 地区子ども会育成研究協議会

地区会長会議において内容を検討し、子ども会発展のため指導者、育成者の情報交換、協議の場として子ども会活動の振興に資するため開催した。

ア 日 程：下表の通り。

イ 内 容：開会式、表彰式、記念講演、情報交換会、分科会、全大会、閉会式等

ウ 負 担 金：平成30年度の共済会加入人数×4円を限度に運営費として  
実費を全子連が負担した。

地区	担当県	開催月日	会場	参加者数
(北海道)	北海道	11/9(土)～10(日)	岩見沢市民会館	83名
東北	福島県	11/9(土)～10(日)	磐梯熱海温泉 ホテル華の湯	台風19号の 影響により 中止
関東甲信越静	静岡県	10/20(日)～21(月)	ホテル ニューアカオ	330名
(東京都)	東京都	10月27日(日)	オリンピック 記念青少年総合 センター	114名
東海・北陸	岐阜県	9/28(土)～29(日)	飛騨世界生活 文化センター	250名
近畿	滋賀県	11/30(土)～12/1(日)	琵琶湖ホテル	250名
中国・四国	岡山県	10/4(金)～5(土)	全子連中央会議 と同時開催	
九州	宮崎県	11/30(土)～12/1(日)	JAAZMホール	366名
指定都市	神戸市	11/2(土)～3(日、祝)	ANAクラウン ラザホテル神戸	169名
合計				1,562名

### (5) 子ども会応援団の組織化

情報収集に留まり、令和2年度以降に具体的に進めていく。

## 2 子ども会活動の指導及び育成事業

### (1) ユース・リーダー(シニア・青年リーダー)の指導・育成

子ども会活動への積極的参加により「子どもの手による子ども会」の推進役、ジュニア・リーダー育成の担い手、地域の街づくりの担い手、将来育成者・指導者として子ども会の発展に尽力すべく、次のような活動を通して意識付けを図る。

ア 2019年度(令和元年度)全子連ユース会員  
47名。

イ 2019年度(令和元年度)全子連ユース運営会議  
(ア) 日程: 2019年5月11日(土)～12日(日)

(イ) 場所: 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟102室

(ウ) 参加者：36名 全子連理事9名 未来委員2名 事務局3名

(エ) 実施した主な内容

<1日目(11日)>

2018年総括 ユース執行部

J・L研究集会に向けて

- ・説明
- ・子どものための子ども会視聴⇒ワークシート作成

<2日目(12日)>

J・L研究集会に向けて

- ・前日の続き
- ・担当プログラム内容協議

今後の全子連ユースについて

- ・協議

今後の全子連ユースについて

- ・協議内容の報告・確認

ウ 全国子ども会ジュニア・リーダー研究集会の運営

## (2) ジュニア・リーダーの指導・育成

ア ジュニア・リーダーの在り方及び組織化の研究と推進  
諸研修会等において、討議検討をした。

イ 全国子ども会ジュニア・リーダー研修大会

(ア) 日程：2019年7月13日(土)～15日(月)

(イ) 場所：国立オリンピック記念青少年総合センター

(ウ) 参加者資格：中学3年生・高校生年齢相当

(エ) 参加者数：90名

(オ) 研修内容

単位子ども会についての理解を深め、「子どもの手による子ども会」の中でのジュニア・リーダーの関わり方をユース・リーダーが中心になって研修を進めた。

ウ 地区子ども会ジュニア・リーダー研修会

中学生・高校生年齢相当を対象にして、地区ごとの特徴を生かしジュニア・リーダーの資質向上を図った。地区ごとの開催状況は下表の通り。

運経費につき、平成30年度の共済会加入人数×1.5円を限度に実費を全子連が負担した。

地区	担当県	開催月日	会場	参加者数
北海道	北海道	8月9日(金)～12日(月)	国立大雪青少年交流の家	212名
東北	宮城県	8月2日(金)～4日(日)	国立花山青少年自然の家	197名
関東甲信越静	山梨県	8月16日(金)～18日(日)	山梨県立八ヶ岳少年自然の家	110名
東京都	東京都	5月3日(金)～6日(月)	桧原山荘	17名
東海北陸	石川県	8月10日(土)～12日(月)	国立能登青少年交流の家	125名
近畿	滋賀県	11月30日(土)～12月1日(日)	琵琶湖ホテル	250名
中国・四国	島根県	8月2日(金)～4日(日)	島根県立少年自然の家	166名
九州	佐賀県	8月16日(金)～18日(日)	佐賀県波戸岬少年自然の家	241名
指定都市	川崎市	8月2日(金)～5日(月)	川崎市青少年の家	112名
合 計				1,430名

### (3) 全国子ども会連合会表彰

- ア 子ども会、ジュニア・リーダー組織は、各都道府県・指定都市子連の表彰式にて伝達。  
 イ 指導者・育成者、指導者組織・育成組織、奨励賞、全国子ども会を退任された代表者は、第53回中央会議の表彰式にて授与。

表彰区分	団体数・個人数
単位子ども会組織(団体)	13団体
ジュニア・リーダー組織(団体)	6団体
シニア・リーダー組織(団体)	3団体
指導者・育成者(個人)	130名
指導者組織及び育成組織(団体)	6団体
奨励賞(団体)	8団体
全国子ども会を退任された代表者	3名

## 3 講習認定登録事業

### (1) 講習認定事業について

引き続き検討課題として継続する。

## (2) ジュニア・リーダー講習認定事業

初級		中級		上級	
東京都	12名	秋田県	1名	千葉県	6名
千葉県	4名	千葉県	42名	秋田県	1名
川崎市	12名	埼玉県	46名	青森県	1名
秋田県	5名	東京都	2名	埼玉県	20名
愛知県	16名	沖縄県	33名	沖縄県	15名
		愛知県	17名		
		北九州市	2名		
		川崎市	10名		
合計	49名	合計	153名	合計	43名

## 4 資料の刊行情報提供事業

### (1) ホームページの充実とインターネットの活用

全国子ども会連合会のホームページの充実を図るとともに、県・市子連のホームページ作成を無料で支援。25年度は群馬県、宮城県、茨城県、新潟県、神奈川県、大阪市、神戸市、岡山県、宮崎県に引き続き、26年度は熊本市、東京都、長崎県、三重県、高知県、札幌市、福岡市、奈良県、27年度は、埼玉県、鳥取県、福井県、北九州市、長野県、岩手県を作成、28年度は兵庫県、愛媛県、静岡県、29年度は徳島県、栃木県、30年度は山口県と千葉県、2019年度は岡山市のホームページを作成し、合計31県・市子連のホームページを作成。

各県・市子連から作成の相談や、作成したホームページの更新依頼を受けている。

### (2) 情報収集・提供

共済事業についてのデータを提供した。

各都道府県・指定都市子連の加入状況のデータをハンマーヘッドでデータベース化する。

## 5 企業団体等連携事業

### (1) 子ども会推奨マーク制度

子どもたちの健全な育成に寄与する商品・サービスとして、全国子ども会連合会が認定  
継続申請11件・新規申請1件・契約終了2件

	商品・サービス名	申請者	商品・サービス内容	備考
1	ビオサーージュ アウトドア ビオミスト	カラーズ株式会社	虫が嫌がる天然精油のアロマで子どもの肌をやさしく守る、アウトドアボディミスト	継続
2	リポビタミンDキッズ	大正製薬株式会社	子どもの成長に必要な、タウリン・カルシウム配合のリポビタミンD	継続

3	キッズパック	ソースネクスト株式会社	スマホ学習アプリ、居場所の確認、使用時間を管理できるアプリ	継続
4	はみつく ベア	株式会社 Hamee	子どもが家でひとりでもスマホを使わず沢山のひとと話ができるクマ型メッセージロボット	継続
5	ウィルスバスターモバイルシリーズ	トレンドマイクロ株式会社	スマートフォン用ウイルスアプリ	継続
6	mamorino 4	KDDI 株式会社	子ども用に機能制限をした携帯電話	継続
7	キッズケータイ	株式会社 NTT ドコモ	子ども用に機能制限をした携帯電話	継続
8	TONE	トーンモバイル株式会社	利用時間や利用機能をコントロールでき、子どものニーズにも応えつつ保護者の不安を解消した子供用スマートフォン	継続
9	まなびのあかり	日立グローバルライフソリューションズ株式会社	文字が見やすく色鮮やかに見えるあかりで、学びの環境を整える LED シーリング	継続
10	ルームエアコン 白くまくん W シリーズ	日立グローバルライフソリューションズ株式会社	子ども部屋向けルームエアコン	継続
11	定額制コンタクトメルスプラン	株式会社メニコン	コンタクトレンズ	継続
12	FamilyDot	ソースネクスト株式会社	家族の居場所をいつでもスマホで確認できる、位置みまもり機	新規
1	みまもりケータイ	ソフトバンクモバイル株式会社	子ども用に機能制限をした携帯電話	契約終了
2	miraie シリーズ	KDDI 株式会社	子ども用に機能制限をした携帯電話	契約終了

(2) サンプルング、企業サポーターについては実績がないが、引き続き推進する。

## 6 助成金事業

### (1) 子どもゆめ基金事業（独立行政法人国立青少年教育振興機構）

#### スポーツの練習・競技中の「ケガ防止対策」指導者養成講習会

子どもの体験活動におけるケガ防止対策を確立する為には、「メンタル」と「フィジカル」の両面からのアプローチが欠かせないが、後者は、正しく意図的に組み込まれにくいようである。本事業では、その部分を集中的な講義と実習により参加者に習得してもらう事を

目的とする。内容は、科学的な根拠と最新の情報に基づく、現場で指導にあたる誰もが実行出来得る最も重要な項目とし、その普及にあたる、より多くの指導者を養成する。

上記の目的を果たすため、ゆめ基金に申請した計画どおり全国9会場で開催し、延べ479名が受講、修了証を授与した。

会場名	共催団体	開催期日	受講者数
鳥取県	鳥取県子ども会育成連絡協議会 中国・四国地区子ども会連絡協議会	2019年6月16日	41名
福井県	福井県子ども会育成連合会	2019年6月30日	42名
旭川市	一般社団法人北海道子ども会育成連合会 旭川市青少年育成部連絡協議会	2019年9月28日	41名
神奈川県	神奈川県子ども会連合会 平塚市子ども会育成連絡協議会	2019年9月29日	53名
山口県	一般社団法人山口県子ども会連合会 中国・四国地区子ども会連絡協議会	2019年12月14日	58名
鹿児島県	鹿児島県子ども会育成連絡協議会 九州地区子ども会育成連絡協議会	2019年12月21日	72名
三重県	三重県子ども会連合会 津市子ども会育成者連合会	2019年12月22日	36名
青森県	青森県子ども会育成連合会 東北地区子ども会育成連絡協議会 八戸市子ども会育成連合会	2020年1月26日	71名
堺市	一般財団法人大阪府こども会育成連合会 堺市こども会育成協議会	2020年2月24日	65名
合計	9会場		479名

## (2) 通常寄付金の募集

10名 106,481円

## 7 賠償責任保険 保険金請求状況(2020.3.31 現在)

### (1) 2019年度発生事故 (報告件数、支払状況)

ア 対人事故報告件数=4件

- ・ 支払済件数 2件 23,920円
- ・ 手続き中 1件
- ・ 支払対象外・請求放棄 1件

イ 対物事故報告件数=155件

- ・ 支払済 121件 4,620,129円
- ・ 手続き中 16件
- ・ 支払対象外・請求放棄 18件

(2) 平成30年度以前発生事故 (2019年度支払状況)

ア 対人事故報告件数=0件

イ 対物事故=49件

- ・ 支払済 41件 860,070円
- ・ 支払対象外・請求放棄 8件

8 物販事業

(1) 売上金額 (平成31年4月1日～令和2年3月31日)

3,457,930円

9 共済事業

(1) 加入状況

(単位:名)

幼児	小学生	中学生	高校生	育成者・指導者	計
142,526名	1,879,090名	211,444名	17,776名	930,470名	3,181,306名

(2) 共済金支払状況

①平成29年度の事故

支払済み	件数(件)	金額(円)	内訳
死亡	0	0	
後遺障害	0	0	
疾病・傷害	7	229,074	入院・通院に関する給付
計	7	229,074	

②平成30年度の事故

支払済み	件数(件)	金額(円)	内訳
死亡	0	0	
後遺障害	4	1,268,200	子ども2名、大人2名
疾病・傷害	544	16,638,195	入院・通院に関する給付
計	548	17,906,395	

③令和元年度の事故

支払済み	件数(件)	金額(円)	内訳
死亡	1	6,000,000	大人1名
後遺障害	0	0	
疾病・傷害	2,060	25,033,686	入院・通院に関する給付
計	2,061	31,033,686	

④合計

支払済み	件数(件)	金額(円)	内訳
死亡	1	6,000,000	大人1名
後遺障害	4	1,268,200	子ども2名、大人2名
疾病・傷害	2,611	41,900,955	入院・通院に関する給付

合 計	2,616	49,169,155	
-----	-------	------------	--

(3) 立入検査について

令和元年10月24日～10月25日  
指摘事項等詳細は別紙2のとおり

(4) 業務委託について

59の県・市子ども会連合組織と共済事業について、業務委託契約を締結し、事務委託費として、31,807,960円を支出。

(5) 準備金等の積立について

①責任準備金について

純掛金× 50 ÷ 1000 = 3,645,201円

平成30年度共済純掛金の総額 = 72,904,018円 (a + b)

a 23円 × 3,154,704人 (加入者数) = 72,558,192円 (前期4月～9月加入)

b 13円 × 26,602人 (加入者数) = 345,826円 (後期10月～3月加入)

②普通支払備金について

平成30年度分 278,309円

令和元年度分 4,212,482円

合 計 4,490,791円

③IBNR備金の算出方法

平成22年12月27日付文部科学省告示第百七十五号により告示された定義による。

15,066,206円

④準備金について

c 共済事業経常収益計 181,655,446円

d " 経常費用計 165,445,276円 (準備金以外)

剰余金の一部を準備金とする

c - d = 16,210,170円のうち10,511,235円を準備金として計上した。

(6) 共済会計における財産及び損益の状況

①財産の状況

(単位:円)

項 目	令和2年3月31日現在	平成31年3月31日現在
流動資産	38,268,212	34,036,744
固定資産	213,062,035	200,176,375
資産合計	251,330,247	234,213,119
負債合計	211,122,096	199,703,903
正味財産	40,208,151	34,509,216
準備金	147,000,000	135,582,447

② 損益の状況

(単位:円)

項目	令和2年3月31日現在	平成31年3月31日現在
当期収入	181,655,446	186,000,911
当期支出額	175,956,511	182,375,643
事業費	175,956,511	182,375,643
うち共済金	49,169,155	58,041,679
経常外費用	0	0
当期収支差額	5,698,935	3,625,268

### (7) 安全普及啓発活動

- ・子ども会安全啓発指導者養成講習会を本格的に全国で展開し、指導者養成を推進することで安全教育を進めた。
- ・「安全啓発」「防災」「交通安全」「スポーツ競技の練習や大会での事故防止」に重点を置き、事故減少に向け県・子市子連、単位子ども会の安全教育の充実を進めた。
- ・スポーツ活動中の事故対策として、事故防止マニュアルの指導本を作成し、専門家によるセミナーを全国9か所で開催した。

#### ア 子ども会安全啓発初級・中級・上級指導者認定事業

県・市	初級	中級	上級
北海道	0名	1名	0名
札幌市	0名	0名	0名
青森県	6名	0名	0名
岩手県	7名	0名	0名
宮城県	20名	0名	0名
仙台市	0名	0名	0名
秋田県	0名	0名	0名
山形県	13名	1名	0名
福島県	0名	0名	0名
茨城県	10名	0名	0名
栃木県	3名	0名	0名
群馬県	31名	0名	0名
埼玉県	58名	1名	0名
千葉県	22名	0名	0名
東京都	6名	0名	0名
神奈川県	1名	0名	0名
横浜市	0名	0名	0名
川崎市	0名	0名	0名
相模原市	0名	0名	0名
新潟県	3名	2名	0名
富山県	8名	0名	0名
石川県	0名	0名	0名

福井県	23名	0名	0名
山梨県	0名	0名	0名
長野県	0名	0名	0名
岐阜県	28名	0名	0名
静岡県	2名	0名	0名
愛知県	19名	5名	0名
名古屋市	0名	0名	0名
三重県	0名	0名	0名
滋賀県	0名	0名	0名
大阪府	0名	0名	0名
大阪市	0名	0名	0名
兵庫県	51名	0名	0名
神戸市	0名	0名	0名
奈良県	0名	0名	0名
和歌山県	0名	0名	0名
鳥取県	10名	0名	0名
島根県	0名	0名	0名
岡山県	3名	0名	0名
岡山市	0名	0名	0名
広島県	0名	0名	0名
広島市	0名	0名	0名
山口県	31名	0名	0名
徳島県	0名	1名	0名

香川 県	0名	0名	0名
愛媛 県	0名	0名	0名
高知 県	9名	0名	0名
福岡 県	0名	2名	0名
北九州 市	0名	0名	0名
福岡 市	0名	0名	0名
佐賀 県	22名	0名	0名
長崎 県	0名	1名	0名

熊本 県	0名	0名	0名
熊本 市	0名	0名	0名
大分 県	0名	0名	0名
宮崎 県	0名	0名	0名
鹿児島 県	0名	0名	0名
沖縄 県	0名	0名	0名
合 計	386名	14名	0名
	初級	中級	上級

### イ 子ども会安全啓発初級指導者養成講習会

地区名	開催県・市	開催期日	参加者人数
北海道・東北地区	青森県	9月1日(日)	6名
	岩手県	10月26日(土)	7名
	宮城県	6月8日(土)	20名
	山形県	6月2日(日)	12名
関東甲信越静地区	茨城県	6月8日(土)	10名
	栃木県	6月30日(日)	35名
	群馬県	5月19日(日)	31名
	埼玉県	5月26日(日)	23名
		千葉県	6月30日(日)
		12月8日(日)	17名
	東京都	6月22日(土)	4名
	神奈川県	6月15日(土)	21名
	新潟県	7月7日(日)	8名
	山梨県	2020年2月9日(日)	27名
	長野県	6月22日(土)	29名
	静岡県	7月7日(日)	13名
東海北陸地区	岐阜県	2020年1月18日(土)	60名
	愛知県	12月7日(土)	32名
近畿地区	兵庫県	5月11日(土)	51名
中国・四国地区	鳥取県	11月16日(土)	10名
	岡山県	2020年1月19日(日)	10名
	山口県	7月6日(土)	33名
	高知県	6月9日(日)	10名
	徳島県	6月30日(日)	19名
九州地区	福岡県	6月9日(日)	28名
	佐賀県	6月16日(日)	19名
		2020年1月19日(日)	5名
	熊本県	7月6日(土)	13名
沖縄県	7月14日(日)	27名	
指定都市地区	熊本市	7月7日(日)	11名
合計			598名

### ウ 子ども会安全啓発中級指導者養成講習会

地 区	開催県・市	開催期日	参加者数
東北・北海道	秋田県	10月19日～10月20日	11名
関東甲信越静	静岡県	1月19日～1月20日	21名
東海・北陸	富山県	2月15日～2月16日	17名
合 計			49名

### エ 子ども会安全啓発上級指導者養成講習会

安全啓発指導者養成講習会の中に、スポーツのケガ防止の研修が組み込まれており、日本体育大学体育学部 准教授の河野徳良先生による講習会を、平成28年度から各地区で開催してきました。

今般これに加えて、テーピング・応急処置の小冊子を作成しましたので、安全啓発指導者養成講習会を担当するにあたり、スポーツ関連の指導方法を学ぶ講習会を実施いたしました。

(ア) 日 程： 2020年1月25日(土) 13時～26日(日) 12時

(イ) 会 場： 国立オリンピック記念青少年総合センター

国際第1ミーティングルーム・センター棟304号室

(ウ) 参 加 者： 27名 全子連理事11名 事務局2名

講師 日体大准教授 河野先生・助教 久保先生2名

アシスタント 日体大学生2名

(エ) 参 加 費： 旅費交通費 宿泊費(オリセンまたは他)全子連負担

情報交換会費1000円各自負担

(オ) 事業内容：

<1日目(25日)>

テーピング・応急処置講習会13時～17時

情報交換会(レストランとき)

<2日目(26日)>

上級指導者講習会9時～12時

オ 各縣市子連での安全普及啓発活動の推進のために、3地区29縣市子連に安全普及啓発活動助成金を各10万円限度に交付した。

県・市 地区名	活 動 名
北海道	令和元年留萌地区安全対策研修会
岩手県	令和元年度子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
	令和元年度子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
	岩手県子ども会育成研究大会にて
	「藤春院」寺子屋リーダー打合せ会
	～令和元年度「体験の風をおこそう」 『遊んでいいとも』で“遊びリンピック”にチャレンジしよう!

	かぜの子学級リーダー研修会
	子ども会安全啓発 KYT 演習プログラム
宮城県	令和元年度子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
	安全啓発初級認定カード発行
山形県	安全啓発初級指導者養成講習会
茨城県	2019年度子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
	安全啓発講習会（高校生連絡協議会～ ジュニアリーダーへの安全啓発の普及のために～）
	安全啓発研修Ⅰ・Ⅱ（2019リーダー研修会事前活動）
栃木県	2019年度子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
	2019年度子ども会育成者・指導者研修会
埼玉県	子ども会安全啓発指導者養成講習会【初級コース】
千葉県	子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
神奈川県	子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
	ぼうさい探検隊指導者養成講習会
横浜市	令和元年度 安全研修会（コミュニケーションと危険予知）
川崎市	安全研修会（スポーツの練習・競技中のケガ防止対策）
山梨県	安全啓発初級指導者養成講習会
静岡県	2019年度安全教育指導者養成研修会
愛知県	子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
名古屋市	令和元年度安全講習会
滋賀県	2019年度滋賀県子ども会連合会安全教育研修大会
大阪府	安全教育推進研修会
	ドッジビー指導員の事故防止のための研修会
	子どもの体験活動における「けが防止対策」指導者養成講習会
奈良県	安全啓発研修会
鳥取県	子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
岡山県	KYT 登山（危険・予知・トレーニング）
山口県	子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
	KYT テキスト・ケガ防止マニュアル冊子類
徳島県	令和元年 危険予知トレーニング指導者養成講習会
香川県	市子連安全活動推進事業（KYT）
高知県	安全啓発初級指導者養成講習会
福岡県	令和元年度子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
福岡市	2019年安全研修会
佐賀県	2019年度第1回安全啓発初級指導者養成講習会
	2019年度第2回安全啓発初級指導者養成講習会
長崎県	安全啓発講習会
	第9回諫早市子ども会育成連合会リーダー及び育成者研修会にて
	安全啓発講習会 第31回 少年の船にて
	夏休み子ども会活動危険予知トレーニング講習会
熊本市	子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
東北地区	令和1年度子ども会安全啓発中級指導者養成講習会
関東甲信越静地区	令和元年度子ども会安全啓発中級指導者養成講習会

東海北陸地区	令和1年度子ども会安全啓発中級指導者養成講習会
九州地区	令和1年度子ども会安全啓発中級指導者養成講習会 (大雨中止)

## (8) 今後の課題

- ア 共済契約者の保護、法令に遵守した健全な運営が求められ、リスク管理の重要性を十分に把握し、さらなる内部管理の強化を今後も継続して進める。
- イ 財務の健全性を保つため、引き続き被共済者の増加促進運動の展開、募集のための費用の見直しや改善、支払事務体制の改善を継続して進める。
- ウ 業務委託先である都道府県・指定都市子連との連携を強化し、リスクの共有により事故軽減のための安全普及啓発運動を推進していくことが今後も求められる。
- エ 事故に占める割合はスポーツ事故が大きく、その軽減が引き続き重要である。
- オ 共済金の支払い率の格差の是正が引き続き重要である。

### <その他>

#### (1) 事務担当者会議

ア 2019年度事務担当者研修

北海道：26名。札幌市2019年4月10日午後・11日午前

北海道2019年4月12日午前・午後

東北（仙台市）：20名。2019年4月15日 13時～16時

関東甲信越静（全子連ビル）：23名。2019年4月15日 13時～16時30分

東海・北陸（岐阜県）：12名。2019年4月19日 13時～16時

近畿（大阪府）：9名。2019年4月19日 13時～16時

中国・四国（岡山県）：15名。2019年4月12日 13時～16時

九州（宮崎県）：23名。2019年4月21日 9時～12時

政令指定都市（名古屋）：15名。平成30年4月11日 13時30分～16時30分

内 容：

1. 共済事業研修
  - ・2019年度の運営に関する説明
  - ・ネット申込システムについて
  - ・共済金支払い状況
  - ・その他保険について
2. 2019年度全子連の事業について
3. コンプライアンス研修
4. その他

#### (2) 傷害保険等の契約

ア ボランティア活動保険（たんぽぽ） ————— 地域子ども会の育成者・指導者等、  
無償ボランティアを対象

・加入者数 5,429人

- ・支払保険金 3件（支払額合計は116,000円）
- ・請求待ち 1件
- ・治療中 0件

## II 収益事業

### 1 全子連ビル管理・賃貸事業

#### (1) 賃貸事業

ア NPO法人東京都子ども会連合会賃貸収入 1,205,200円/年

#### (2) ビル管理事業

ア エレベーター保守点検費用 233,280円/年

イ 警備費用 149,040円/年

#### (3) ビルの建替工事資金

ア 建替準備資産 当年度繰入 2,035,038円  
当年度末 25,082,678円

## III 法人の運営について

### 1. 組織、事務局執行体制の整備と強化

(1) 共済業務は3人の専門職員により正確で効率的に事務処理をした。

事務局長退職により前事務局長を事務局長に任命。新年度は人員補充しないで組織の整備を進める。

(2) ホームページの充実と、システムの活用により県・市子連との情報の共有化を推進した。

### 2. 総会について

期日	出欠	内容	審議結果

定時総会 令和元年 5月30日	出席者 59名  委任状 12分名 欠席者 0名	1. 平成30年度（平成30年4月1日から平成31年3月31日）事業報告及び収支決算書（計算書類）等の承認の件 2. 2019年度事業計画及び収支予算書の承認の件 3. 共済規程改正の承認の件 4. 借入金の限度額の承認の件 5. 第54回中央会議開催について承認の件 報告事項 （1）監事監査報告 （2）共済金支払状況（平成28年度～30年度）報告	承認  承認 承認 承認 承認
-----------------------	--	--	--------------------------------

### 3. 理事会について

第1回 令和元年 5月10日	出席者 13名  欠席者 2名  監事 2  監事 欠席者 0名	1. 平成30年度事業報告及び収支決算書（計算書類）等の承認 2. 2019年度事業計画（案）及び収支予算書（案）の承認 3. 2019年度定時総会の議題について 4. 共済規程改正（案）について 5. 借入金の限度額について 6. 第54回中央会議について 7. 定款改正の件 8. 報告事項 （1）ミクロネシア諸島自然体験交流事業について	承認  承認  承認 承認 承認 承認 否認 承認
第2回 令和元年 5月30日	出席者 14名  欠席者 1名  監事出席 2名  監事欠席 0名	1. 新規会員の承認の件 2. 総会第2号議案について 2019年度事業計画及び収支予算書の承認の件（資金調達及び設備投資の見込みについて、2019年度の借入れ予定及び重要な設備投資の見込みはないことの承認を含む） 3. 総会時配布資料の修正について 4. 報告事項 （1）安全共済会の加入状況と支払い状況	承認 承認   承認
第3回 令和元年 9月12日	出席者 15名  欠席者 0名  監事出席者 2名	1. 新規会員の承認の件 2. 自転車保険の契約締結について承認の件 3. 旅費日当規程の改正の承認の件 4. 当座預金を開設し、「当座借越」を設定すると同時に2,000万円の「当座借越」契約を締結することの承認の件 5. 全国子ども会安全啓発公認指導者資格認定規程	承認 承認 承認 承認 承認

	監事欠席者 0名	<p>改正の承認の件</p> <p>6. 安全啓発上級指導者研修会の開催について承認の件</p> <p>7. 年度の表示は和暦で表示することを原則とする事の承認の件</p> <p>8. 指定都市子ども会連絡協議会からの要望書についての回答書の承認の件(執行理事会で確認)</p> <p>9. 地区育成研等の全子連主催行事の参加費について承認の件</p> <p>10. 2020年度の事業について承認の件</p> <p>①全国子ども会ジュニア・リーダー研究集会は開催しない。 令和3年度以降については、開催の有無を含めて継続して研究していく。</p> <p>②全子連ユースの組織は発展的に解消する。 地区子ども会推進研究会にユース(シニア)・リーダーも参加することで、ユース(シニア)・リーダーの意見を地区の子ども会運営に反映していく。 各都道府県・指定都市子連の枠を3名とし、うち1名をユース(シニア)・リーダーとする。</p> <p>③シニア・リーダー(ユース・リーダー)の呼称を全子連では、ユース・リーダーとする。各都道府県・指定都市子連での呼称については統一しない。</p> <p>④第54回全国子ども会育成中央会議・研究大会 日程 令和2年10月24日(土)～26日(月) 場所 かでる2.7(札幌市中央区) 京王プラザホテル</p> <p>11. 防災用品の物品販売の取扱い</p>	承認 承認 承認 承認 承認 承認
第4回 令和元年 12月19日	出席者 14名 欠席者 1名 監事出席者 2名 監事欠席者 0名	<p>1. 共済規程(共済約款)改正について承認の件</p> <p>2. 小学校の登校班に関し全子連の対応について承認の件</p> <p>通知文は発信しないが、各都道府県・指定都市子連が責任をもって対応していくことで合意する。全子連に問い合わせがあった場合も、速やかに該当の都道府県・指定都市子連に連絡いたしますので、都道府県・指定都市子連が責任をもって対応していく。</p>	承認 承認

		<p>以上のことを、各ブロックで担当理事が徹底することを決議した。</p> <p>3. 防災食品と自転車保険の積極取扱いについて承認の件</p> <p>承認</p> <p>4. 令和2年度事業計画について承認の件</p> <p>承認</p> <p>令和2年度事業計画について5の企業・団体等連携事業に次の項目を追加する。</p> <p>(3)SDGsに取り組む</p> <p>次の3目標について、できるところから始めていく。</p> <p>目標13(気候変動):気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。</p> <p>目標14(海洋資源):持続可能な開発のために、海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。</p> <p>目標15(陸上資源):陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。</p> <p>取組の中で、子ども会の日(8月8日)を有効に活用し、一斉活動等により子ども会活動をアピールする。</p> <p>5. 令和2年度予算について承認の件</p> <p>承認</p> <p>6. 安全共済会のネット加入の推進について承認の件</p> <p>承認</p> <p>7. 第55回全国子ども会育成中央会議・研究大会について承認の件</p> <p>承認</p>	
--	--	---	--

#### 4. 内部監査の実施

##### (1) 監査日

令和元年12月18日 15時～17時

令和元年12月19日 9時～10時

##### (2) 内部監査委員

丸山康昭

中山ひろみ